

学校だより

アビラ

第14号
(通算177号)

平成 28 (2016) 年 6 月 9 日
在ベネズエラ日本国大使館
附属カラカス日本人学校発行

目指す児童生徒像 よく考える子 思いやりのある子 進んでやりぬく子 強くたくましい子 日本もベネズエラもよく知る子

地球の反対側のベネズエラで出会えたこの素晴らしい「絆」 奇跡」に感謝します！
JICA隊員の方々との交流で学んだ多くのことは、子どもたちの「一生の宝物」です！



6月3日（金）に急遽ご帰国が決まったJICA青年海外協力隊3人の方々との交流会を開催しました。木村隊員、荒井隊員、刈屋隊員には、一昨年や昨年10月のJICA交流会でお世話になりました。木村隊員にはメリダ修学旅行下見でも大変お世話になりました。昨年は運動会にも参加してくださり、共に汗を流しました。3人の隊員の皆様からは子どもたちに夢を持つことの大切さや人のために尽くすことの大切さを自分の生き立ちや体験をもとにお話していただきました。子どもたちからは学級毎に心からの言葉を贈りました。次に会える日が来ることを信じて、隊員の方々とお別れしました。有り難うございました。

カラカス日本人学校をもっともっと知り、もっともっと好きになるために…（その107）

カラカス日本人学校はみんなの大切な、大切な宝物です！ NO. 2

学校沿革史を見ると、ベネズエラで活動するJICAの青年海外協力隊との交流会が始まったのは、平成15（2003）年のことです。当時の写真を見ると（写真左）、6人の隊員さんが来られ、当時の児童生徒と親しく交流しています。一番多い時期（写真中）は、平成23（2011）年頃ですが、14人の隊員さんが学校を訪ねてくださいました。当時の児童生徒より多い数でした。平成25（2013）年には（写真右）8名の隊員さんが訪ねてくださいました。そして、平成28（2016）年6月3日に、3名の隊員さんを迎えて、交流会を行いました。14年14回に及んだJICAとカラカス日本人学校との交流会はこれで一端幕を閉じることになります。

近い将来、ベネズエラの地にJICA隊員が再び赴任し、新たな歴史が刻まれることを願わずにはいられません。JICA隊員の皆様、子どもたちに大きな夢と希望を与えてくださって本当に有り難うございました。

